

わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します!



まいわよ通信

2023年
冬号
VOL.5



特集

病棟紹介 (3階B病棟)

〈内容〉

- 3階B病棟の紹介
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現在の対応
- 歯科受診のご案内
- きらり ひかる☆ (職員紹介)





3階B病棟の紹介



入院・入所対象となる方

3階B病棟は、医療療養病床34床、介護療養病床16床を有する病棟です。

医療療養病床は、急性期での医療を終了し、病状が安定したものの何らかの医療処置と継続的な入院加療を必要とする慢性期の患者様が対象です。

介護療養病床は、医療ケアが必要な状態にある介護保険の認定を受けた方（要介護1以上）が対象です。また、ショートステイとして、介護者が自宅での介護を一定期間できなくなった際や介護者の休養のための短期間入所も受け入れています。

職員の業務

スタッフは、経管栄養、中心静脈栄養、吸引、創傷処置などの医療的処置やケアに加え、入浴介助、清拭、口腔ケア、おむつ交換等の日常生活援助や個々の患者様の状況にあった看護を行っています。またリハビリスタッフと連携し、病棟レクリエーションとして、折り紙などを切り貼りしたり、お茶会、カラオケ、季節の行事、誕生日会などを毎月行い、少しでも患者様、入所者様の療養生活が楽しく穏やかに過ごせるように努めています。

疾患や家族環境などから入院期間が長期となる患者様や、日常全般的に介護が必要な患者様が多い中、日頃から声かけを積極的に行い、いつもと違う変化に気付く観察力を大切にし、患者様が安心安全に過ごせるよう日々看護に励んでいます。経験豊富なバイタリティーあふれるスタッフがが多く、時には肉體労働ともいえる業務も頑張っています。

病棟の目指す姿

「西伯病院に入院（入所）して良かった」、「西伯病院を選んで良かった」と患者様やご家族様、地域からも選ばれ、そして喜んでもらえる病棟になることを目指し、高い倫理性と観察力を持ちながら、患者様が安全に穏やかに、そしてその人らしくいられるよう個性を重視した看護を行っています。

コロナ禍において面会が制限されている今、ご家族様にとっては患者様の状態が見えづらく不安な思いをしておられると思います。その不安をなるべく小さくできるよう、ご家族様との面会時などに患者様の近況をお伝えしていきます。



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現在の対応



2019年12月に報告された『COVID-19』という感染症は、私たちの生活に大きな変化をもたらしました。病気そのものがわからなかった3年前に比べると、今はどのように対応すればいいか感染対策の方法も示されています。

その経過の中で、政府から示されているCOVID-19対応方法は刻々と変更されています。大きく変わった点は「療養期間」、「療養場所」、「陽性者の登録方法」です。

療養期間

検査をした日が発症日ではありません。発症日は、何かしらの症状が出現した(例えば発熱を認めた)日であることを覚えておいてください。無症状の方の場合は、検査日を発症日として考えます。発症日を0日目、翌日を1日目とし、症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間が経過するまでは感染リスクがあります。この期間を『療養期間』としています。療養期間中は検温などご自身による健康状態の確認や、不要不急の外出や会食を避け、自主的な感染予防行動が求められています。

3年前に比べると療養期間は半分になりました。しかし療養期間が明けた後においてもPCR検査をすると半分程度の方が『陽性』と判定されます。『療養期間が過ぎた=治癒した』ではないことを知っておいていただき、継続的な感染予防行動をお願いします。

療養場所

3年前、陽性者は全員入院が鳥取県の考え方でしたが、現在は違います。在宅や入所先の施設での療養が基本です。

	3年前	現在
療養期間	発症～14日間	発症～7日間 (10日目までは感染対策を継続)
療養場所	病院(入院)	重症化リスクの高い方など入院の必要性を判断し決定 基本的には自宅で療養

陽性者の登録方法

次の①～④に該当しない方は保健所への届け出対象ではないため、現在は保健所から電話がかかってくることはありません。ご自身でコンタクトセンターにQRコード、または電話で登録をする必要があります。

- ①65歳以上の方
- ②入院を要する方
- ③重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬や酸素投与が必要であると医師が判断する方
- ④妊婦の方

【無料PCR検査】

西伯病院では、無料PCR検査を以下の時間で実施しています。

平日 11時～ 20件
15時～ 10件

事前に予約が必要です。

電話0859-66-2211 (8時30分～17時)

第3波 緊急対策

無料検査(PCR検査等)を活用しましょう

○無料検査は、感染に不安を感じる県民であれば誰でも受検できます。
○現在、県内118ヶ所の無料検査所において検査実施中です。
お近くの検査所へご予約ください。不明な点はコールセンターへご相談ください。
※東部:48ヶ所、中部:28ヶ所、西部:42ヶ所 新型コロナウイルス感染症特設サイトに会場一覧を掲載
※鳥取県無料検査コールセンター ☎0570-783-563 (土日含む毎日、9時～17時)

○無料検査期間を令和5年2月28日まで延長しますのでご活用ください。

感染拡大傾向時の一般検査事業 ⇒鳥取県民を対象とした無料検査
不特定多数の方と接触するなど、感染リスクの高い行動をされた方は、積極的に受検をお願いします。(特措法第24条第9項による受検要請)

ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業 ⇒県外者を対象とした無料検査
当面、本県の独自施策として実施
※他の都道府県は令和4年8月末まで及び
12月24日から1月12日まで終了

旅行・帰省等で検査が必要な方にも、ご利用いただけます。

歯科受診のご案内

月	火	水	木	金
倉立	倉立 宮内	倉立	倉立	倉立

西伯病院の歯科は2Fにあります。

診察室は明るく・広いスペースに診療チェアが4台あります。

窓から見える法勝寺川土手の景色がとても綺麗で、桜の咲く時期はとても美しいです。診察の合間に一度ご覧になってみてください。

現在、歯科医師・歯科衛生士2名・歯科助手の4名で診療しています。

お口の中のお困りごと等、気軽に話せる雰囲気作りにスタッフ一同努めています。

※予約制としておりますので、事前に電話をお願いします。(0859-66-2211)

※毎月第2火曜日は、鳥取大学の歯科医師も診察にあたります。

正しいブラッシングの方法など、私たちが全力でサポートします!



ドクターから一言

～もしや、フレイルの入り口では?～

自分は食事も普通に食べているし、口のなかは特に問題ないと思っていませんか?一昔前とは、食事の嗜好、硬さ、大きさは変わってきていないですか?飲み込むまでは、筋肉、神経、唾液などがお互いに、補い合っているの、実はちょっとした機能低下に気づきにくいことがあります。

口の機能が低下してくると、知らず知らず栄養も偏り、少しずつ健康を損ない、要介護のリスクが高まるとされています。最近よく耳にするフレイルの入り口です。

思い当たる節のある方は、一度、口の機能検査をしてみてもよろしいかもしれません。

75歳以上の方であれば、後期高齢者歯科健診がこれにあたります。是非、病気の予防、健康の増進に役立ててください。



倉立医師



キラリ ひかる ☆ (職員紹介)



重度認知症デイケア 副看護師長 矢田貝奈緒子(精神科認定看護師)

西伯病院に就職して29年目になります。心身の両側面から皆様のお役にたてればと思い、自身の自己研鑽と看護の質の向上をめざして2009年に精神科認定看護師の資格を取得しました。現在は重度認知症デイケア『らくらく』で勤務しています。

重度認知症デイケア『らくらく』では、南部町や近隣の住民の認知症の方々が、日中安心して穏やかに過ごせる場の提供、認知症による精神症状や周辺症状などの軽快や改善、認知症の進行防止、残存機能の維持・向上をめざしています。その中で、中心となって専門的ケアが提供できるよう役割を担っています。特に「心地良い」「楽しい」「嬉しい」と思っただけに重きを置いて支援しています。日々の活動プログラムに創作、運動、音楽、頭の体操などを取り入れ、日中活動や他者との交流、個々の心身の状態に応じた機能回復訓練などを行い、五感への刺激、気分転換、リラックス、脳の活性化を図っています。そのほか、行政、他事業所様や他職種の方々との連携、専門的な相談・支援に取り組んでいます。

ご利用いただいている皆様の笑顔や笑い声と、昔懐かしいお話や知恵などを教えていただき、私の方が毎日元気や学びを頂戴している今日この頃ですが、今後も皆様が困りごとなく安心して安全に在宅で生活していただけるよう、個々に寄り添い、個別性と丁寧さを重視して取り組んでいきたいと思っています。また、此所にこういう場所があるということがまだ広く知られていないので、もっと皆様に発信していきたいと思っています。

日中一人で過ごされるのは心配、通所系サービスに抵抗を感じる、なかなか家から出ること自体が難しいなど、気兼ねなくご相談いただけたらと思います。よろしくお願いたします。



南部町国民健康保険西伯病院

〒683-0323 鳥取県西伯郡南部町倭397

TEL 0859-66-2211 <https://www.saihaku-hospital.com/>

病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしております。

